



## 2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社Birdman 上場取引所 東  
コード番号 7063 URL <https://www.birdman.ne.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊達 晃洋  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO兼CHRO (氏名) 三橋 秀一 TEL 03(6865)1322  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年6月期第1四半期の連結業績（2023年7月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	595	△30.9	△90	—	△92	—	△70	—
2023年6月期第1四半期	862	—	71	—	65	—	48	—

(注) 包括利益 2024年6月期第1四半期 △70百万円 (—%) 2023年6月期第1四半期 52百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	△13.80	—
2023年6月期第1四半期	9.58	9.56

(注) 1. 2023年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年6月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 当社は、2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	2,519	442	17.5
2023年6月期	2,912	512	17.5

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 440百万円 2023年6月期 510百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年6月期	—	—	—	—	—
2024年6月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	11.5	260	364.2	250	481.4	210	—	41.02

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期1Q	5,119,300株	2023年6月期	5,119,300株
② 期末自己株式数	2024年6月期1Q	176株	2023年6月期	176株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期1Q	5,119,124株	2023年6月期1Q	5,104,224株

（注）当社は、2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウクライナ情勢の長期化等により、依然として景気の先行き不透明な状況が続きましたが、新型コロナウイルス感染症の感染者数の減少に伴い、社会経済活動が正常化に向かっていくことが期待され、国内外におけるライブの活性化が見込まれております。

このような状況下において、マーケティング・トランスフォーメーション事業（以下、「MX事業」という。）では、前期から継続して、案件獲得能力の組織的強化、各案件の収益性向上及び社員の生産性向上に取り組みました。社員数を抑えつつ、社外パートナーと協力体制を構築することにより、サービスを提供しております。

エンターテインメント・トランスフォーメーション事業（以下、「EX事業」という。）では、アーティストの個人活動の強化に注力しつつ、「7ORDER LIVE TOUR 2023 DUAL」のフォトブックを2023年9月にファンクラブ向けに先行発売した他、クレジットカード会社と7ORDERのコラボレーションカードの発行等に取り組みました。また、ファンの皆様に7ORDERのパフォーマンスを届けるため、2023年12月8日開催の福岡サンパレス ホテル&ホール公演を皮切りに、2024年1月1日開催の東京国際フォーラムホール公演まで、「7ORDER LIVE [ONE,]- DUAL Endroll」の開催を決定しました。

EX事業を構成する当社100%子会社の株式会社Entertainment Nextでは、共同主催者として、韓国の夏を代表する大型音楽フェス「WATERBOMB」の日本版「WATERBOMB JAPAN 2023」を、2023年7月22日と23日に名古屋、7月29日と30日に東京でそれぞれ開催しました。また、グローバルボーイズオーディション番組「BOYS PLANET」に参加していたアーティストとの日本初のファンミーティングを、2023年8月18日に豊洲PITで開催しました。

以上のとおり、新規事業のエンターテインメント領域に投資を継続することにより、売上高や利益のみならず、ナレッジやIPの獲得を進めてまいります。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は595,755千円（前年同四半期比30.9%減）、営業損失は90,773千円（前年同四半期は営業利益71,118千円）、経常損失は92,086千円（前年同四半期は経常利益65,656千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は70,647千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益48,947千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①MX事業

MX事業では、顧客の企業としてのブランド価値や商品・サービスのブランド価値を高めるべく、一般消費者へのイメージアップや認知度・購買意欲の向上等を図るためのソリューションを提供しております。そのため、顧客の顕在化したニーズだけではなく潜在的なニーズも引き出し、各ニーズに合うような様々なサービスを組み合わせた提案を行い、元請から下請に至る多段階構造ではなくワンストップでソリューションを提供し、既成概念を打ち破るクリエイティブとビジネスソリューション、それらを実現するテクノロジーを駆使したアイデアを実装していきます。MX事業では、コンサルティング会社・広告会社・PR会社等縦割りで進めていたビジネスを内製化により一気通貫することで、迅速な対応及び顧客へコストメリットを創出することができ、企業や社会の挑戦に伴走します。

なお、売上高は439,552千円（前年同四半期比14.3%減）、セグメント利益は17,993千円（前年同四半期比83.3%減）となりました。

#### ②EX事業

EX事業とは、エンターテインメント・トランスフォーメーション事業の略語で、エンターテインメント業界をアップデートするべく、当社グループの主力事業領域であるクリエイティブやデジタル・テクノロジーを駆使し、新進気鋭のアーティストやクリエイターと連携しながら新しいエンタメの形を創出する事業であります。わが国においては、通信やデジタル・テクノロジーの発達で、リアル空間からデジタル空間をストレスなく、シームレスに行き来できるようになってきており、新しいエンターテインメントの形や次世代のエンターテイナーが次々と生まれようとしております。このような状況下において、当社グループが従来から有するブランディング・広告プロモーションやデジタル・テクノロジーの知見を駆使して、型にとらわれずジャンルレスに生きる次世代アーティスト・クリエイターがファンとの新たなコミュニケーションや関係を構築でき、スターになるためのプラットフォームを実現します。

なお、売上高は156,202千円（前年同四半期比55.3%減）、セグメント損失は47,360千円（前年同四半期はセグメント利益43,333千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度に比べ311,025千円減少し2,331,738千円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が200,673千円、前払費用が542,434千円増加したものの、現金及び預金が709,477千円、その他が337,780千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度に比べ81,297千円減少し188,223千円となりました。これは主に、投資その他の資産が81,860千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度に比べ224,395千円減少し1,426,191千円となりました。これは主に、短期借入金が増加したものの、その他が616,455千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度に比べ97,577千円減少し651,566千円となりました。これは、長期借入金が97,577千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度に比べ70,350千円減少し442,204千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が70,647千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の連結業績予想につきましては、2023年8月14日の「2023年6月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,196,856	487,379
受取手形、売掛金及び契約資産	423,978	624,652
未成業務支出金	8,541	2,846
前渡金	398,209	398,209
前払費用	151,660	694,094
その他	529,416	191,635
貸倒引当金	△65,899	△67,079
流動資産合計	2,642,764	2,331,738
固定資産		
有形固定資産	57,136	55,040
無形固定資産		
のれん	12,448	15,309
ソフトウェア	5,688	5,486
無形固定資産合計	18,136	20,795
投資その他の資産	194,247	112,386
固定資産合計	269,520	188,223
資産合計	2,912,285	2,519,962
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	239,719	217,245
短期借入金	413,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	321,473	349,007
その他	676,395	59,939
流動負債合計	1,650,587	1,426,191
固定負債		
長期借入金	749,143	651,566
固定負債合計	749,143	651,566
負債合計	2,399,730	2,077,757
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	397,905	397,905
資本剰余金	387,905	387,905
利益剰余金	△278,935	△349,582
自己株式	△165	△165
株主資本合計	506,709	436,062
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,646	3,943
その他の包括利益累計額合計	3,646	3,943
新株予約権	2,198	2,198
純資産合計	512,554	442,204
負債純資産合計	2,912,285	2,519,962

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	862,498	595,755
売上原価	644,841	523,934
売上総利益	217,656	71,820
販売費及び一般管理費	146,537	162,594
営業利益又は営業損失(△)	71,118	△90,773
営業外収益		
受取利息	3	5
利子補給金	453	441
為替差益	198	—
受取補償金	—	1,018
その他	295	240
営業外収益合計	950	1,705
営業外費用		
支払利息	1,525	2,994
持分法による投資損失	2,579	13
支払解決金	1,799	—
その他	507	10
営業外費用合計	6,412	3,018
経常利益又は経常損失(△)	65,656	△92,086
特別利益		
投資有価証券売却益	—	21,671
特別利益合計	—	21,671
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	65,656	△70,414
法人税、住民税及び事業税	14,692	232
法人税等調整額	2,016	—
法人税等合計	16,709	232
四半期純利益又は四半期純損失(△)	48,947	△70,647
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	48,947	△70,647

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	48,947	△70,647
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	4,022	296
その他の包括利益合計	4,022	296
四半期包括利益	52,969	△70,350
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,969	△70,350
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。